

—中国四国教育学会—

—第30回大会プログラム—

日時 昭和53年11月1日(水)・2日(木)

会場 香川大学教育学部

参加者への御案内

1) 交通案内

高松駅前から市内バス(循環):西脇線西廻りで約10分

教育学部は幸町で下車(始発7:00,10分間隔運行)

2) 受付

○第一日(1日) 8時30分より 第二日(2日) 8時30分より

○受付場所 教育学部玄関

○諸経費 学会費 3,000円 大会参加費 500円

紀要掲載費(原稿用紙代を含む)8,500円

※ 但し,博士課程前期の者は5,500円

臨時会員 500円

○懇親会費 3,000円(院生2,000円) 会場 学内職員会館

3) 発表要領

○研究発表 発表時間15分 質疑5分。但し,共同研究で二人以上発表する場合は,発表時間30分 質疑10分。

4) 原稿

○学会紀要に掲載する原稿は未発表のもので香川大会で発表したものに限ります。

5) 会場 (裏表紙に図示してあります)

○大会場案内図は当日教育学部玄関にも掲示します。

○会員控室は中会議室,役員控室は学部長室です。

6) その他

○このプログラムは大会当日必ず御持参下さい。

○昼食は,第一日第二日ともに学生会館内の食堂又は近くの飲食店でお願いします。

○大会準備委員会の所在地:〒730 広島市東千田町1丁目1番89号

広島大学教育学部 教育学研究室

TEL(0822)41-1221

大 会 日 程

11月1日(水)	11月2日(木)
<p>8:30 受 付</p> <p>9:00 研究発表 第一会場 「教育の基礎」部会 (25番教室) 第二会場 「教授・学習の過程」部会 (26番教室) 第三会場 「教育制度と学校」部会 (27番教室) 第四会場 「教育行政と教育権」部会 (28番教室) 第五会場 教科教育学部会Ⅰ (35番教室) 第六会場 教科教育学部会Ⅱ (36番教室) 第七会場 教科教育学部会Ⅲ (37番教室) 第八会場 教科教育学部会Ⅳ (38番教室) 第九会場 教科教育学部会Ⅴ (大会議室)</p>	<p>8:30 受 付</p> <p>9:00 研究発表 第一会場 「日本・東洋教育の思想と原理」部会 (25番教室) 第二会場 「欧米教育の思想と原理」部会 (26番教室) 第三会場 「幼児の教育と発達」部会 (27番教室) 第四会場 「子ども・青年をめぐる環境と教育」部会 (28番教室) 第五会場 「高等教育の歴史と理論」部会 (35番教室) 第六会場 教科教育学部会Ⅵ (36番教室) 第七会場 教科教育学部会Ⅶ (37番教室) 第八会場 教科教育学部会Ⅷ (38番教室)</p>
<p>13:00 課題研究 (大会議室) } 教科教育学研究(Ⅲ)</p> <p>15:20 「教科教育学の課題と展望」</p> <p>15:30 総 会 (大会議室) }</p> <p>16:30</p> <p>17:00 懇 会 (学内職員会館)</p>	<p>9:30 課題研究 (大会議室) } 「学部と附属学校-共同研究のあり方-(Ⅱ)」</p> <p>11:30</p>

第一会場「教育の基礎」部会(25番教室)

司会:是 常 正 美 (安田女子大学)

森 川 直 (岡山大学)

- (1) 9:00 デルボラフ教育学の方法論に関する研究(I) 相原久仁男 (広大大学院)
——その「教育人間学」構想を中心にして——
- (2) 9:20 シュブランガーの倫理思想研究 小嶋忠興 (広大大学院)
- (3) 9:40 ペスタロッチーの陶冶思想研究(I) 上畑良信 (広大研究生)
——「基礎陶冶」論・その近代的特質をめぐって——
- (4) 10:00 ペスタロッチーにおける労働と教育 鳥光美緒子 (広大研究生)
- (5) 10:20 ヘルマン・ノールにおける「教育」の相対 坂越正樹 (広大大学院)
的自律性

休 憩(10分)

- (6) 10:50 ペスタロッチーの『探究』成立に関する研 渡辺 満 (広大大学院)
究(3)
- (7) 11:10 W. デイルタイの宗教観 中村哲治 (広島大学)
——比較による歴史的敬虔について——
- (8) 11:30 T. リットの歴史観について 実松宣夫 (山口大学)
- (9) 11:50 シュプラスガーの名誉観 山崎英則 (比治山女子短大)
- (10) 12:10 ブーバーの教育学への貢献 上野 武 (西南学院大学)
——教育の今日的課題に示唆するもの——

第一日午前

第二会場「教授・学習の過程」部会(26番教室)

司会：笹本正樹 (香川大学)

堀田鶴好 (松山東雲短大)

- | | | | |
|-----------|----------------------|--------|---------|
| (1) 9:00 | 教授原理に関する理論的研究 | 杉山 緑 | (広大大学院) |
| (2) 9:20 | 教科課程構成の教授学的研究(その1) | 子安 潤 | (広大大学院) |
| (3) 9:40 | 認識興味の形成とその教授学的意義 | 久田 敏彦 | (広大研究生) |
| (4) 10:00 | 知識習得過程の構成に関する教授学的研究 | 本田 敏明 | (広大研究生) |
| (5) 10:20 | 幼児教育における「教授」概念の検討(4) | 上野 ひろ美 | (広島大学) |

休憩(10分)

- | | | | |
|------------|---------------------------|--------|----------|
| (6) 10:50 | 教育評価に関する理論的研究(その3) | 三橋 謙一郎 | (広大大学院) |
| (7) 11:10 | 授業における知的能動性の形成に関する一考察 | 湯浅 恭正 | (広大大学院) |
| (8) 11:30 | 西ドイツにおける教科課程論の基礎的研究 | 小野 拓男 | (広大大学院) |
| (9) 11:50 | デュエイにおける“インスタントとオキュペーション” | 武田 紘一 | (徳島文理大学) |
| (10) 12:10 | ガイダンスの教育学的考察 | 渡辺 光公 | (明善短大) |

—— ジョーンズとケルシェンシュタイナーを中心に ——

第三会場「教育制度と学校」部会（27番教室）

司会：渡辺安男（香川大学）

三輪定宣（高知大学）

- | | | | | |
|-----|-------|--------------------------------------|--------------|---------|
| (1) | 9:00 | イギリス総合制中等学校に関する一考察 | 成宮千恵 | (広大大学院) |
| (2) | 9:20 | インドネシアにおける初等教育の発展と
教育浪費について | 西村重夫 | (広大大学院) |
| (3) | 9:40 | 教育研究・開発制度の原理に関する研究 | ウィブーン・シャムシュン | (広大大学院) |
| (4) | 10:00 | 各国の女子教育 | 岩崎恭枝 | (広大大学院) |
| (5) | 10:20 | 米国におけるスクール・ビジネス・マネージ
メントに関する研究(Ⅱ) | 岡崎公典 | (広大大学院) |

休憩（10分）

- | | | | | |
|-----|-------|--|-------|---------|
| (6) | 10:50 | 家庭による学校選択の理論化の試みに関する一考察 | 小野由美子 | (広大大学院) |
| (7) | 11:10 | 学校の経営組織に関する研究(1)
——組織づくり(Organization Development: OD)概念の導入—— | 林孝 | (広大大学院) |
| (8) | 11:30 | 現代学校職業教育モデル設定に関する研究
——Thompsonの現代職業教育モデルの
分析を中心にして—— | 金容淑 | (広大大学院) |
| (9) | 11:50 | P. マニケと国際国民大学 | 佐々木正治 | (広島大学) |

第一日午前

第四会場「教育行政と教育権」部会（28番教室）

司会：江 幡 裕 （香川大学）
遠 藤 盛 夫 （鳥取大学）

- (1) 9:00 西ドイツにおける文化連邦主義に関する 井上 講 四 （広 大 大 学 院）
考察
- (2) 9:20 米国の教育における不法行為責任 松 元 健 治 （広 大 大 学 院）
- (3) 9:40 教育経営へのシステムズ・アプローチの 鈴木 利 彦 （広 大 大 学 院）
展開～組織変革へのシステム論的アプローチ
- (4) 10:00 教育計画の事例的研究 岡 本 徹 （広 大 研 究 生）
- (5) 10:20 学校経営の革新 河 野 和 清 （広 島 大 学）
—— 組織開発（Organization development）の
理論を中心にして ——

休 憩（10分）

- (6) 10:50 米国Community Collegeの財政に関 李 真 淑 （広 大 大 学 院）
する研究
- (7) 11:10 米国の教育行政における裁判所の役割 加治佐 哲 也 （広 大 大 学 院）
- (8) 11:30 A. Müller から K. Marx への国家観の 前 原 健 三 （広 大 大 学 院）
変遷
—— 国家と教育の関連をめぐって ——
- (9) 11:50 西ドイツにおける生徒の経営参加 織 田 成 和 （広 大 研 究 生）
- (10) 12:10 アメリカ教育行政学史における教育政治 堀 和 郎 （宮 崎 大 学）
学の意義

第五会場 教科教育学部会1(35番教室)

司会：平田嘉三 (広島大学)

永井滋郎 (広島大学)

- (1) 9:00 社会科における理論と実践 大杉昭英 (広島大学院)
—— コア連・日生連の社会科 ——
- (2) 9:20 戦後わが国における歴史授業構成 信原保彦 (広島大学院)
—— 歴史教育者協議会の場合 ——
- (3) 9:40 西条小学校(東広島市)における社会科 野上完治 (広島大学院)
教育実践の研究
—— “独創教育”の理論と実践 ——
- (4) 10:10 社会科探究学習における教授法 才木雅伸 (広島大学院)
—— J. ジャロリメックの場合 ——
- (5) 10:20 西ドイツにおける地理カリキュラムの構 児玉修 (広島大学院)
成
—— レアルシューレとハウプトシューレの場合 ——

休 憩(10分)

- (6) 10:50 総合社会科における学習分野の構造化 池野範男 (広島大学院)
—— ヘッセン州「ゲゼルシャフト」を手がかりとして ——
- (7) 11:10 社会科の授業と態度変容 三浦直人 (広島大学院)
—— ロール・プレイングを中心として ——

第一日午前

第六会場 教科教育学部会2(36番教室)

司会：大槻和夫 (広島大学)

菅原稔 (武庫川女子大)

- | | | |
|-----------|-------------------------------------|--------------|
| (1) 9:00 | 読み書き関連指導の考察 | 楠野義顕 (広大大学院) |
| (2) 9:20 | 高校生の言語意識の実態
—— 理論言語のばあい —— | 杉本麗次 (広大大学院) |
| (3) 9:40 | 低学年理解語彙の研究
—— 教科書教材を中心に —— | 山本建雄 (広大大学院) |
| (4) 10:00 | 文法教育についての一考察
—— 文の成分の扱いを中心として —— | 竹本伸介 (広大大学院) |
| (5) 10:20 | 年間作文指導計画の考察
—— 岡田小学校(岡山県)のばあい —— | 前田真証 (広大大学院) |

休 憩 (10分)

- | | | |
|-----------|---|-------------|
| (6) 10:50 | 文集『星の子の広っぱ』(戸田唯己氏指導) 菅原稔 (武庫川女子大)
について | |
| (7) 11:10 | 読みの指導過程についての考察
—— 「たどり読み」・「一読総合法」を中心に —— | 吉田裕久 (愛媛大学) |
| (8) 11:30 | ドイツ民主共和国の国語教育(8) | 大槻和夫 (広島大学) |

第七会場 教科教育学部会3(37番教室)

司会：野地潤家 (広島大学)

中冽正堯 (鳥取大学)

- | | | | |
|-----------|-------------------|------|------------|
| (1) 9:00 | 詩教材の考察 | 粕谷倫生 | (広大大学院) |
| (2) 9:20 | 中学生の読書意識についての一考察 | 堀泰樹 | (広大附属中・高校) |
| (3) 9:40 | 読解指導と作文指導との関連について | 小森茂 | (高知大学) |
| (4) 10:00 | 柳田国男の国語教育論(23) | 小山清 | (広大附属高校) |
| (5) 10:20 | 単元構成の基礎的研究 | 中冽正堯 | (鳥取大学) |

休 憩(10分)

- | | | | |
|-----------|--|------|----------|
| (6) 10:50 | 「漢文教育の吟味」(吉川幸次郎)についての考察 | 南本義一 | (福岡女子短大) |
| (7) 11:10 | 中等国語教材史からみた島崎藤村作品の研究(5) | 橋本暢夫 | (千代田高校) |
| (8) 11:30 | 児童文学作品の教材論的研究
——「大造じいさんとガン」の教材化についての一考察—— | 阿部真人 | (新居浜工高専) |
| (9) 11:50 | 国語科教材取扱いの着眼点
——芦田恵之助のばあい—— | 野地潤家 | (広島大学) |

第一日午前

第八会場 教科教育学部会 4 (38 番教室)

司会：坂本和丈 (福山市立女子短大)

新畑茂充 (名古屋市大)

- | | | |
|-----------|-------------------------------------|-----------------------|
| (1) 9:00 | 動作に先行する準備状態について | 乾 信之 (広 大 大 学 院) |
| (2) 9:20 | 知覚—運動スキル学習と情報処理過程 | Go Tani (広 大 大 学 院) |
| (3) 9:40 | 東ドイツ (DDR) におけるスポーツ授
業と動作スキル学習 | 綿 引 勝 美 (広 大 大 学 院) |
| (4) 10:00 | 水泳の初心者指導に関する教授—学習過
程の分析 2 | 佐 野 新 一 (広 大 研 究 生) |
| (5) 10:20 | 創作舞踊の指導に関する研究 | 井 上 幸 (広 大 研 究 生) |

休 憩 (10 分)

- | | | |
|------------|-----------------------------|--|
| (6) 10:50 | 運動行動のプログラミングに関する二・
三の解析 | ○萩原 仁 (広 島 大 学)
乾 信之 (広 大 大 学 院)
綿 引 勝 美 (広 大 大 学 院)
Go Tani (広 大 大 学 院)
森 田 公 治 (広 島 大 学)
井 上 幸 (広 大 研 究 生)
佐 野 新 一 (広 大 研 究 生) |
| (7) 11:10 | 対応場面における知覚—運動スキルの学習 | 坂 本 和 丈 (福 山 市 立 女 子 短 大) |
| (8) 11:30 | 軟式テニスの指導過程に関する研究 | 松 岡 重 信 (広 島 大 学) |
| (9) 11:50 | 器械運動における動作結合 | 森 田 公 治 (広 島 大 学) |
| (10) 12:10 | 持久走における学習過程の最適化に関
する研究 Ⅱ | 新 畑 茂 充 (名 古 屋 市 大) |
| (11) 12:30 | 体育科教育における「技術」概念と技術
教育 Ⅱ | 江 刺 幸 政 (広 島 大 学) |
| (12) 12:50 | 舞踊教育改革に関する 1・2 の提言 | 佐 藤 裕 (広 島 大 学) |

第九会場 教科教育学部会 5 (大会議室)

司会：八木正一 (高知大学)

川原 浩 (広島大学)

- (1) 9:00 音楽学習における思考過程に関する研究 鎌田真規子 (広大大学院)
—— 音楽の意味理解をめぐって ——
- (2) 9:20 読譜に関する研究 松本 正 (広大大学院)
—— P. ガランの『新音楽教授法序説』
における数字譜について ——
- (3) 9:40 読譜技能のメカニズムについての考察(1) 堀 曜子 (広大研究生)
—— ロードイ・システムにおけるハンド・サインの機能 ——
- (4) 10:00 幼児教育における音楽リズムの研究(1) 伊藤公江 (倉敷市立短大)
—— 音楽リズムの現状と問題点 ——
- (5) 10:20 音楽科における目標・評価論への一考察(1) 八木正一 (高知大学)

休 憩 (10分)

- (6) 10:50 メロディー視唱の方略について 吉田 孝 (松山東雲短大)
- (7) 11:10 学校教育における実験音楽 野村幸治 (広島大学)
- (8) 11:30 小学校専門科目(音楽)の教育内容に関する考察 竹内俊一 (北海道教育大学)

第一日午後

課題研究 (大会議室)

13:00 教科教育学研究(Ⅲ)

} 「教科教育学の課題と展望」

15:20

司会: 蛭谷米司 (広島大学)

萩原仁 (広島大学)

提案: 中羽正堯 (鳥取大学)

平林一栄 (広島大学)

千成俊夫 (広島大学)

小笠原道雄 (広島大学)

第一会場「日本・東洋教育の思想と原理」部会（25番教室）

司会：島田雅治（島根大学）

中島康輔（岡山大学）

- | | | | |
|-------------------|----------------------|------|---------|
| (1) 9:00 | グリフィスのみた明治初年の道徳教育の問題 | 今川直 | (広大大学院) |
| (2) 9:20 | 国学における道と教えについて | 山中芳和 | (広大大学院) |
| (3) 9:40 | 芸道教育に関する一考察 | 安部崇慶 | (広大大学院) |
| —— 芸道教本の分析を中心に —— | | | |
| (4) 10:00 | 島地黙雷と教導職制 | 大林正昭 | (広大大学院) |
| (5) 10:20 | 藩学・明倫館の重健とその教育 | 川口雅昭 | (広島大学) |

休憩（10分）

- | | | | |
|-----------|---|-------|----------|
| (6) 10:50 | 明治期児童就学の実態
—— 広島県の実態 —— | 生馬寛信 | (山口芸術短大) |
| (7) 11:10 | 専門職教育の史的研究(I) | 三好信浩 | (広島大学) |
| (8) 11:30 | 社会教育における芸道(習いごと)の教育的構造とその特質
—— 実態調査を中心として —— | 岸本幸次郎 | (広島大学) |
| | | 中島正明 | (広島大学) |
| | | 小池源吾 | (広大大学院) |
| | | 小野由美子 | (広大大学院) |
| | | 林孝 | (広大大学院) |
| | | 鈴木利彦 | (広大大学院) |
| | | 赤木恒雄 | (広大大学院) |
| | | 金容淑 | (広大大学院) |
| (9) 12:10 | 戦前における融和教育思想
—— 解放教育運動史研究(2) —— | 木山良亮 | (皆実高校) |

第二日午前

第二会場「欧米教育の思想と原理」部会（2.6番教室）

司会：胡 豊 四 （山 口 大 学）

脇 屋 潤 一 （香 川 大 学）

- (1) 9:00 公立学校成人教育の理念 赤木恒雄 (広大大学院)
—— 1920年代カリフォルニア州を中心にして ——
- (2) 9:20 グスタフ・ヴィネケンとドイツ青年運動 今井康雄 (広大大学院)
—— 「自由ドイツ」との論争過程を中心として ——
- (3) 9:40 ウィスコンシン大学拡張の再構成 小池源吾 (広大大学院)
—— 職業教育の導入を中心に ——
- (4) 10:00 成人の読書関心と読書習慣について 中島正明 (広島大学)
- (5) 10:20 J・デューイにおける解放としての教育 上寺常和 (広大研究生)
について

休 憩（10分）

- (6) 10:50 ウシンスキー教育学の基礎的研究(II) 岩崎正吾 (広島大学)
- (7) 11:10 プロイセン教育改革期における教員養成 高岡信也 (広大研究生)
改革(II)
- (8) 11:30 都市と学校 森川潤 (広大研究生)
- (9) 11:50 アウグスティヌスの教師観 岩村清太 (広大大学院)
- (10) 12:10 シャルトル聖堂学校における教育内容 松浦正博 (広島大学)
—— 文法教育を中心として ——

第三会場「幼児の教育と発達」部会(27番教室)

司会：赤塚徳郎 (広島大学)

藤武 (香川大学)

- | | | | |
|-----------|--------------------------|-------|----------|
| (1) 9:00 | キブツにおける集団保育の効果 | 石橋千種 | (広大大学院) |
| (2) 9:20 | 幼児教育におけるオープン・エデュケーションの意義 | 折坂利津子 | (広大大学院) |
| (3) 9:40 | モンテッソーリ教育学研究 | 山下紀子 | (広大大学院) |
| (4) 10:00 | 幼児の言語発達に関する研究 | 河村正彦 | (広島大学) |
| (5) 10:20 | リズムの研究(3) | 井戸和秀 | (美作女子大学) |

—— 速度について ——

休憩(10分)

- | | | | |
|-----------|---|------|------------|
| (6) 10:50 | 3才児の運動発達に関する研究 | 吉岡清香 | (福山市立女子短大) |
| (7) 11:10 | わが国における幼稚園成立に関する研究
— 女子教育との関わりを中心に — | 狐塚和江 | (倉敷市立短大) |
| (8) 11:30 | 絵本に対する幼児の興味性 | 石橋京子 | (松山東雲短大) |

第二日午前

第四会場「子ども・青年をめぐる環境と教育」部会(28番教室)

司会：平木正直 (徳島大学)

住田正樹 (香川大学)

- (1) 9:00 言語活動からみた幼児の仲間意識の発達 植田ひとみ (広大研究生)
- (2) 9:20 E. H. エリクソンの社会学的関心の発展過程 伴恒信 (広大大学院)
- (3) 9:40 幼児教育における遊び指導の問題(II) 渡辺久美 (広島大学)
- (4) 10:00 福祉の重層構造に関する実証的研究(2) 末友洋寿 (広島県立保育専門学校)
- 障害児保育を中心に ——
- (5) 10:20 子どもとコミュニティー 押谷由夫 (高松短期大学)

休憩(10分)

- (6) 10:50 農業後継者問題 吉富啓一郎 (高知大学)
- 高知県農業会議による ——
- 「農業青年の実態および意向」調査を中心に ——
- (7) 11:10 教育とカウンセリング 中原実道 (福山市立女子短大)
- Rogers の Freedom to Learn についての考察

第五会場「高等教育の歴史と理論」部会（35番教室）

司会：田 中 昭 徳 （徳 島 大 学）
原 聡 介 （岡 山 大 学）

- | | | | |
|-----------|------------------------------------|---------|---------------|
| (1) 9:00 | 十六世紀前半Wittenberg 大学史研究 | 三 浦 克 則 | (広 大 大 学 院) |
| (2) 9:20 | エコール・ポリテクニクの成立
—— 教育内容を中心にして —— | 宮 田 洋 子 | (広 大 大 学 院) |
| (3) 9:40 | 高等教育機会の不均等化に関する一考察 | 加 野 芳 正 | (広 大 大 学 院) |
| (4) 10:00 | H. シェルスキーの教育社会学 | 山 崎 博 敏 | (広 大 大 学 院) |
| (5) 10:20 | 学生新左翼運動の理論と系譜 | 河 野 員 博 | (広 大 大 学 院) |

休 憩（10分）

- | | | | |
|-----------|--|-----------|-----------------|
| (6) 10:50 | ヴェネツィアとパドヴァ大学 | 児 玉 善 仁 | (広 大 大 学 院) |
| (7) 11:10 | 19世紀末アメリカ大学における共学論 | 徳 本 達 夫 | (広 大 大 学 院) |
| (8) 11:30 | トマス・ジェファソンとヴァージニア大
学に関する一考察 | 川 地 洋 一 | (広 大 大 学 院) |
| (9) 11:50 | 女子高等教育機関としての短大の史的考
察
—— 家政科を手がかりとして —— | 堀 田 鶴 好 | (松 山 東 雲 短 大) |
| | | 久 保 木 道 子 | (松 山 東 雲 短 大) |
| | | 田 中 享 胤 | (松 山 東 雲 短 大) |
| | | 伊 藤 裕 子 | (松 山 東 雲 短 大) |

第二日午前

第六会場 教科教育学部会 6 (36番教室)

司会：平 林 一 栄 (広 島 大 学)

山 下 智 恵 子 (香 川 大 学)

- | | | |
|-------------|---------------------------------------|-----------------------|
| (1) 9 : 00 | Z. P. Dienes の数学学習の心理学的基礎づけについて | 山 本 信 也 (広 大 大 学 院) |
| (2) 9 : 20 | 数学教育における言語の問題 | 長 船 勝 彦 (広 大 大 学 院) |
| (3) 9 : 40 | ベルギーにおける中等数学教育の思潮 | 藤 本 義 明 (広 大 大 学 院) |
| (4) 10 : 00 | 教材構成と発生的原理 | 国 本 景 亀 (広 大 大 学 院) |
| (5) 10 : 20 | 学生の数学に対する意識について
—— 高専生と大学生を比較して —— | 福 島 光 男 (阿 南 高 専) |

休 憩 (1 0 分)

- | | | |
|--------------|---------------------|-----------------------------|
| (6) 10 : 50 | 数学的直観について | 近 藤 彰 (山 口 大 学) |
| (7) 11 : 10 | 数学教育における評価について | 植 村 哲 郎 (大 分 大 学) |
| (8) 11 : 30 | 「食物史」教材に関する一考察 | 朴 木 佳 緒 留 (鹿 児 島 女 子 短 大) |
| (9) 11 : 50 | キャリア・エデュケーションに関する研究 | 赤 崎 真 弓 (長 崎 女 子 短 大) |
| (10) 12 : 10 | 家庭科カリキュラムの研究(I) | 山 下 智 恵 子 (香 川 大 学) |

—— 授 業 観 察 から ——

第七会場 教科教育学部会 7 (37 番教室)

司会：蛭谷米司 (広島大学)

垣田直巳 (広島大学)

- | | | |
|-----------|--------------------------|----------------------|
| (1) 9:00 | 理科教科課程構成の原理と実際 | 森崎義人 (広島大学院) |
| (2) 9:20 | 微細運動学習時の脳波変動に関する研究 | ルディ・サハルディン (広島大学院) |
| (3) 9:40 | 理科における実験・観察の場の構成 | 角屋重樹 (広島大学院) |
| | —— 実験・観察活動の重みづけ —— | |
| (4) 10:00 | 理科における実験・観察の場の構成 | 小山裕 (広島大学院) |
| | —— ポリグラフィ的考察 (その 1) —— | |
| (5) 10:20 | 理科における実験・観察の場の構成 | 松本勝信 (広島大学) |
| | —— ポリグラフィ的考察 (その 2) —— | |

休憩 (10 分)

- | | | |
|------------|----------------------------|----------------|
| (6) 10:50 | Motivation に関する一考察 | 高塚成信 (広島大学院) |
| (7) 11:10 | 理論言語学と英語教育 | 高島英幸 (広島大学院) |
| | —— 新言語学はどこまで英語教育に貢献できるか —— | |
| (8) 11:30 | 外国語教育における文学の位置づけ | 縫部義憲 (広島大学院) |
| (9) 11:50 | 中・上級段階における英会話の指導 | 竹中龍範 (広島大学院) |
| (10) 12:10 | 岡倉由三郎の『外国語最近教授法』について | 松村幹男 (広島大学) |

第二日午前

第八会場 教科教育学部会 8 (3・8 番教室)

司会：木村仁泰 (広島大学)

寺川智祐 (広島大学)

- (1) 9:00 西ドイツの前期中等教育における総合的
自然科学教育 木村康郎 (広大大学院)
- (2) 9:20 ソビエトの中等教育における選択学習
—— 物理教育を中心に —— 西野竹雄 (広大大学院)
- (3) 9:40 総合理科の目的と内容 ムハマド・ゴラム・ラスール・ミア
(広大大学院)
- (4) 10:00 日本とアメリカの地学教師教育プログラム
の比較研究 マハブブル・ラーマン (広大大学院)
- (5) 10:20 アメリカにおける初等理科教育改革
プロジェクトの目的の変遷 セドグル・アタイ (広大大学院)

休 憩 (1 0 分)

- (6) 10:50 ソビエトにおける自然保護教育
—— 初等段階におけるその動向 —— 神津弘之 (広大大学院)
- (7) 11:10 東ドイツの中等物理教育
—— 内容に関する一考察 —— 柴一実 (広大大学院)
- (8) 11:30 初等理科教育における自発的活動(1)
—— F. W. Parker の場合 —— 野上智行 (広大大学院)
- (9) 11:50 ソビエトにおける化学教育の特質
(その2) 山路裕昭 (広大大学院)

課 題 研 究 (大会議室)

9 : 30 学部と附属学校

↳ —— 共同研究のあり方(Ⅱ) ——

11 : 30

司会：岡 本 一 平 (愛 媛 大 学)

① 金 谷 茂 (愛 媛 大 学)

新 堀 通 也 (広 島 大 学)

学部と附属学校との共同研究をめぐり前回、各大学の取り組みの実状を報告していただき、これからのあるべき方向について協議いたしました。今回は、その成果をふまえ岡山大学(小野謙二教育実習センター長ほか)、香川大学(佃 範夫教育学部長ほか)からの現状や問題点の指摘をもとによりいっそう研究討議を深め、共同研究のあり方を探りたいと思います。

中国四国教育学会第30会大会会場

香川大学教育学部校舎・教室配置図

